

## (2) 各地域における児童生徒数の推移及びその地域の再編概況

ここでは、地域別に該当する児童数・生徒数の状況、児童数・生徒数の推移、学校位置図、選定した再編案について示します。

### ① 富山中央

図 II-41 学級数・児童生徒数

小学校名 (8校)	1年生		2年生		3年生		4年生		5年生		6年生		合計	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
芝園	3	100	4	112	3	95	3	106	3	102	3	102	19	617
西田地方	2	53	2	54	2	49	2	65	2	52	1	39	11	312
中央	2	69	2	62	2	53	2	72	2	74	2	65	12	395
柳町	1	32	1	20	1	23	1	31	1	19	1	32	6	157
奥田	3	85	2	67	3	76	3	86	2	75	2	79	15	468
奥田北	2	66	3	77	2	65	2	58	2	68	2	66	13	400
堀川	3	88	4	112	3	103	3	99	3	103	3	101	19	606
光陽	3	80	2	68	3	82	3	80	3	97	3	90	17	497

※学級数は通常級のみ。児童数は人数であり、特支級の人数を含む。

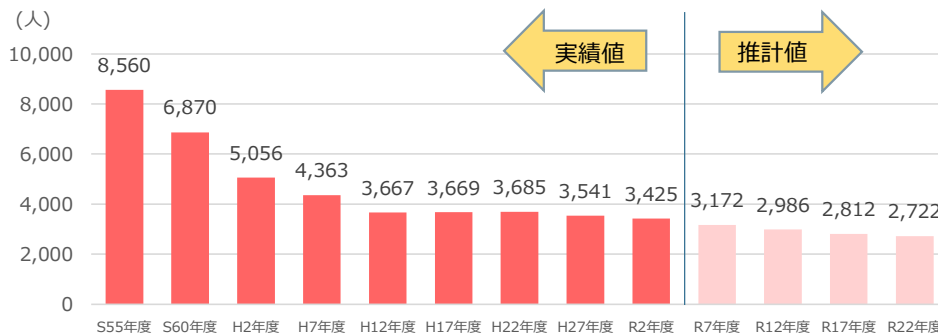
中学校名 (5校)	1年生		2年生		3年生		合計	
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数
芝園	4	139	4	131	4	145	12	415
堀川	8	297	9	349	9	348	26	994
南部	5	187	5	178	5	174	15	539
奥田	6	214	6	218	6	216	18	648
大泉	1	43	2	47	2	82	5	172

※学級数は通常級のみ。生徒数は人数であり、特支級の人数を含む。

出典：「富山市の教育」（富山市教育委員会、令和3年9月）

各学校の規模	
■	：大規模校
■	：適正規模校
■	：小規模校

図 II-42 小学校児童数推移



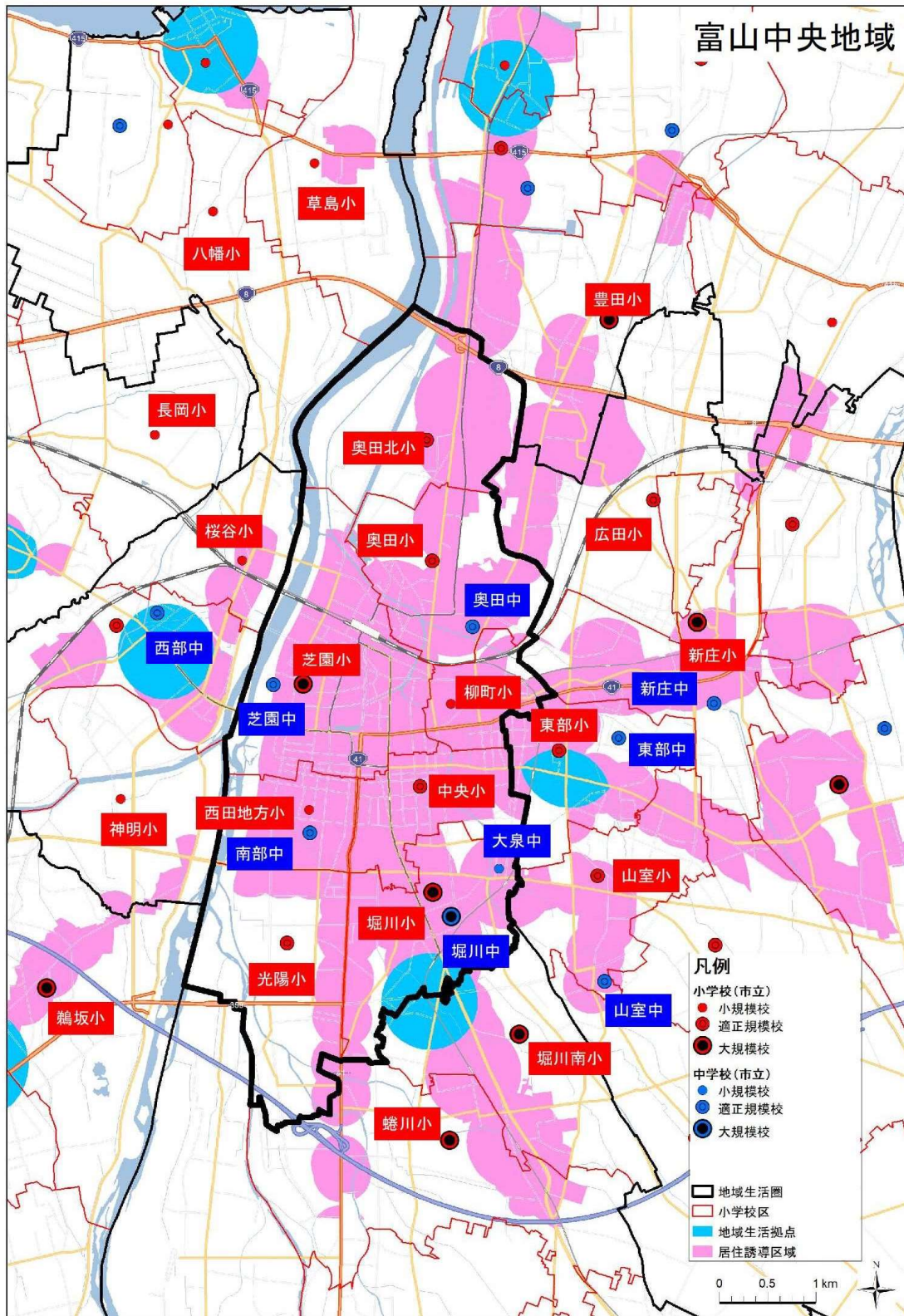
出典：昭和55年度～平成12年度：各学校沿革史（富山市）、平成17年度～令和2年度：「富山市の教育」（富山市教育委員会、平成17年9月～令和2年9月）、令和7年度～令和22年度：令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

図 II-43 中学校生徒数推移



出典：昭和55年度～平成12年度：各学校沿革史（富山市）、平成17年度～令和2年度：「富山市の教育」（富山市教育委員会、平成17年9月～令和2年9月）、令和7年度～令和22年度：令和2年3月31日住民基本台帳に基づくコーホート変化率法による推計

図 II-44 学校位置図



※学校規模は令和3年5月1日時点



## 再編する学校の姿

再編する学校の姿

再編の組み合わせ

再編対象校

- 柳町小学校〔東部中、奥田中〕  
児童生徒数：157人  
学級数：6学級(小規模校(全学年が単学級))



再編対象校と組み合わせる学校

- 中央小学校〔大泉中、南部中〕  
児童生徒数：395人  
学級数：12学級(適正規模校)

再編先学校

現 中央小学校〔大泉中、南部中、東部中、奥田中〕

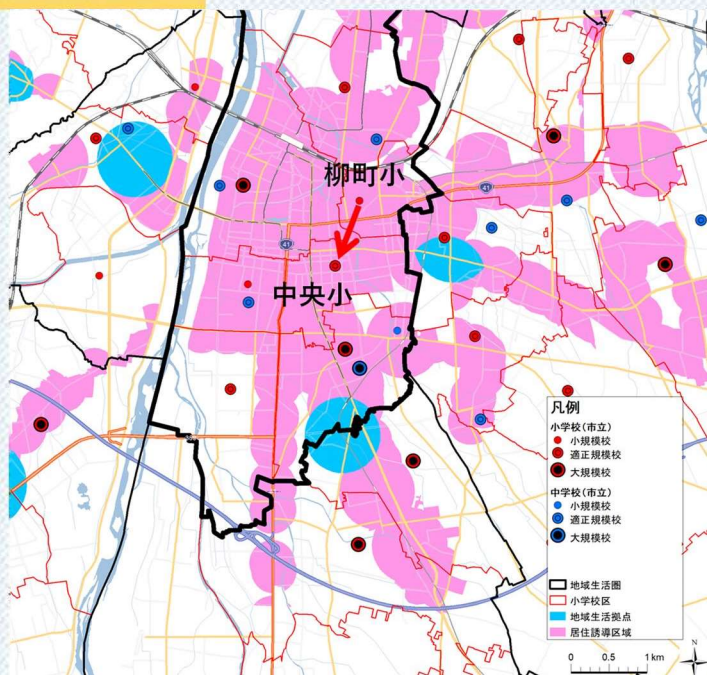
※〔 〕内は進学先中学校

※( )内は学校規模

※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4(1)、(3)及び(4)に基づく

※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数(「富山市の教育」)

### 該当する地域生活圏及び小学校区

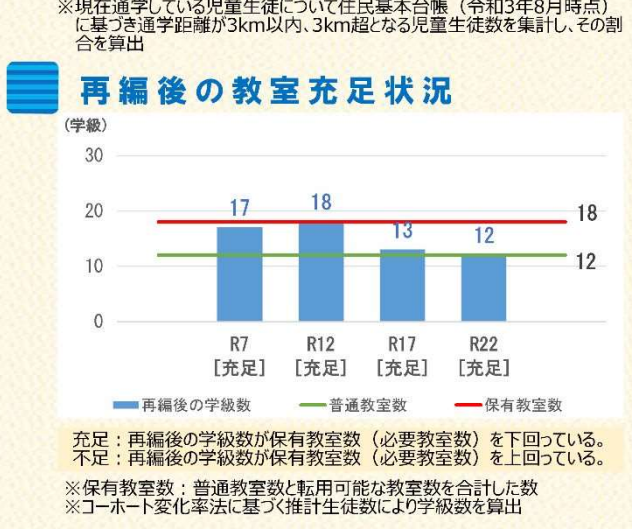
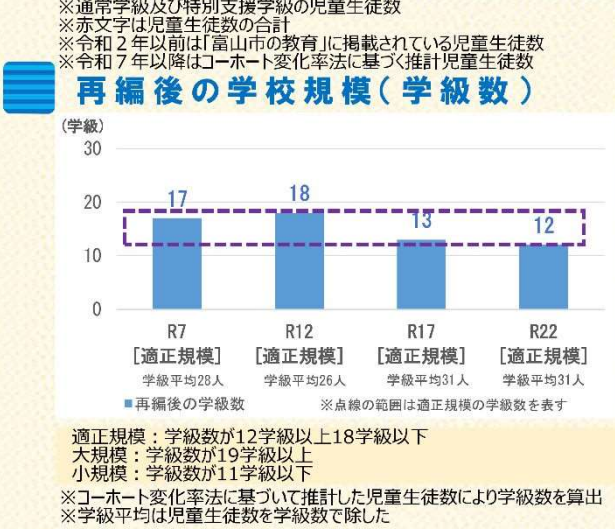
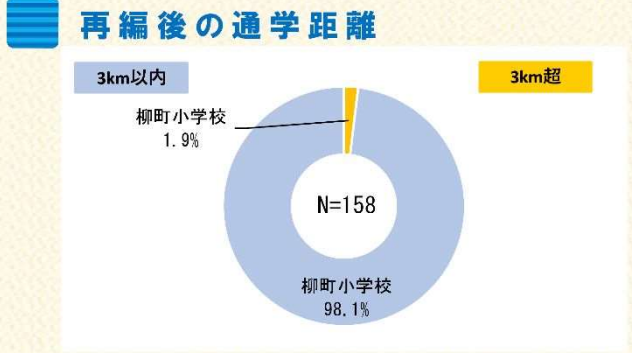
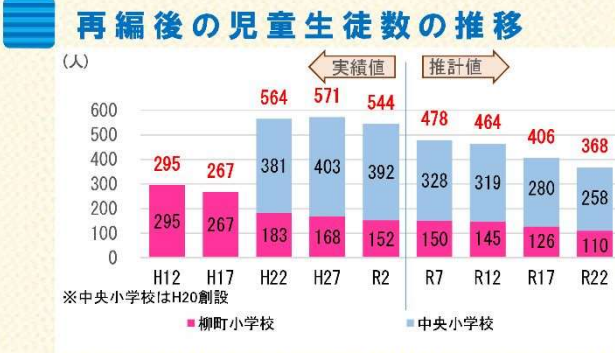


※学校規模はR3.5.1時点



本計画	No. 1
再編原案	富山中央-1

# 再編後の概況



### 再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎・体育館 (建築年数14年)	-	A	A	A	A	A

A: 概ね良好  
 B: 部分的に老朽化（安全上、機能上、問題なし）  
 C: 広範囲に老朽化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）  
 D: 早急に対応する必要がある（安全上、機能上、問題あり）

※富山市学校施設長寿命化計画（令和3年3月）

### 再編先学校の周辺地域状況

■地域生活拠点  
■居住誘導区域

### 再編先学校の指定避難所区分

**第1次避難所**  
 （洪水時には2階以上に避難すべき緊急避難場所）

※富山市避難所一覧（令和3年5月24日更新）

## コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒が存在する。
- 【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても適正規模校となる。
- 【必要教室数】教室数は充足している。
- 【施設健全度】良好である。
- 【周辺状況】居住誘導区域（立地適正化計画）内に位置する。
- 【その他】進学先の中学校は4校となる。



## 再編する学校の姿

再編する学校の姿

再編の組み合わせ

再編対象校

- 柳町小学校〔奥田中〕  
(奥田小校区に通学区域を変更)  
児童生徒数：68人  
学級数：-学級



再編対象校と組み合わせる学校

- 奥田小学校〔奥田中〕  
児童生徒数：468人  
学級数：15学級(適正規模校)

再編先学校

現 奥田小学校〔奥田中〕

※〔 〕内は進学先中学校

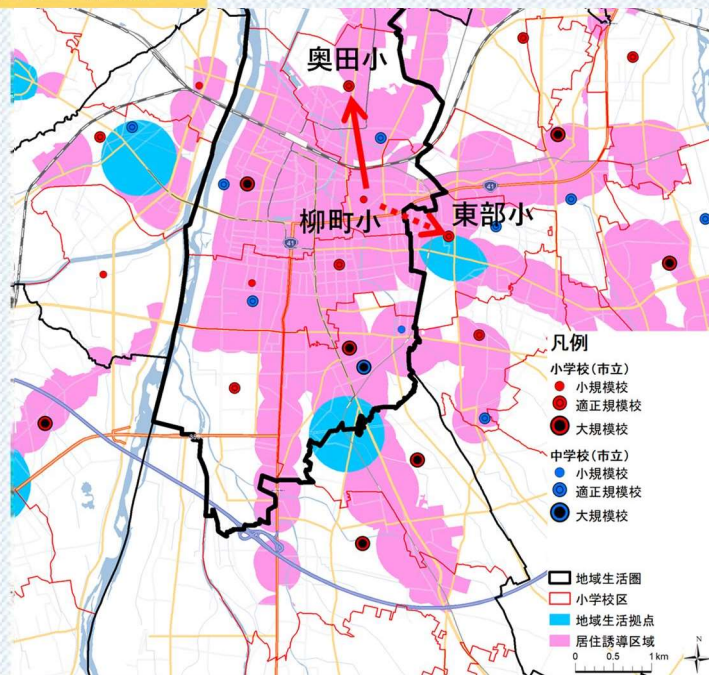
※( )内は学校規模

※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4(1)、(3)及び(4)に基づく

※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数（「富山市の教育」）

※柳町小学校（奥田小校区に通学区域を変更）については、令和3年8月時点の住民基本台帳に基づき算出。学級数は不要であるため、割り出していない。

### 該当する地域生活圏及び小学校校区

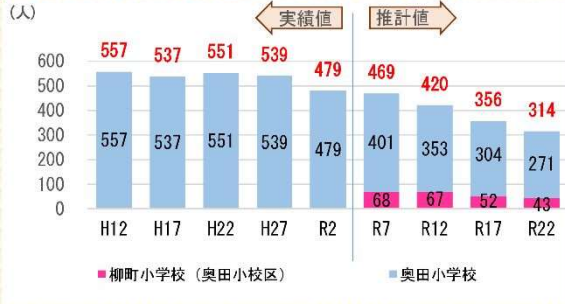




本計画	No. 2
再編原案	富山中央-3(1)

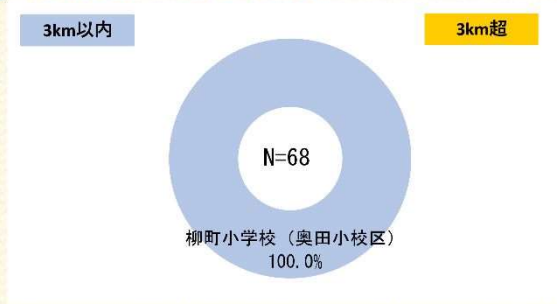
# 再編後の概況

## 再編後の児童生徒数の推移



※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数  
 ※赤文字は児童生徒数の合計  
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数  
 ※令和7年以降はコーホート変化率法に基づく推計児童生徒数

## 再編後の通学距離



※現在通学している児童生徒について住民基本台帳(令和3年8月時点)に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

## 再編後の学校規模(学級数)



適正規模：学級数が12学級以上18学級以下  
 大規模：学級数が19学級以上  
 小規模：学級数が11学級以下  
 ※コーホート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出  
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

## 再編後の教室充足状況



充足：再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を下回っている。  
 不足：再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を上回っている。  
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数  
 ※コーホート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

## 再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎1 (建築年数50年)	○	A	A	A	A	A
校舎2 (建築年数45年)	○	A	A	A	A	A
体育館 (建築年数32年)	-	B	B	B	B	B

A：概ね良好  
 B：部分的に老朽化(安全上、機能上、問題なし)  
 C：広範囲に老朽化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)  
 D：早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)  
 ※富山市学校施設長寿命化計画(令和3年3月)

## 再編先学校の周辺地域状況



## 再編先学校の指定避難所区分

**第1次避難所**  
 (洪水時には2階以上に避難すべき緊急避難場所)  
 ※富山市避難所一覧(令和3年5月24日更新)

## コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒は存在しない。
- 【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても適正規模校となる。
- 【必要教室数】令和7年は教室数が不足しているが、令和12、17、22年は教室数は充足している。
- 【施設健全度】概ね良好である。
- 【周辺状況】居住誘導区域(立地適正化計画)内に位置する。



## 再編する学校の姿



※〔 〕内は進学先中学校

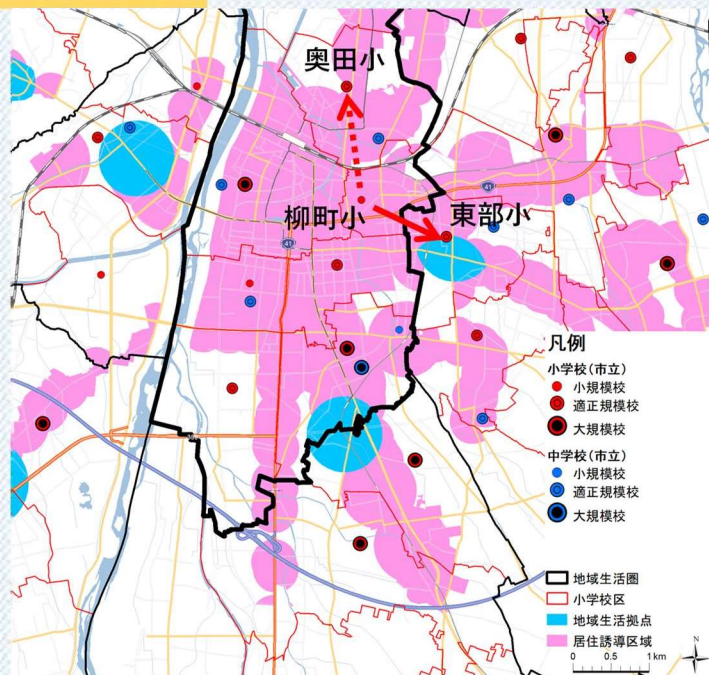
※( )内は学校規模

※再編の組み合わせは「市立小・中学校再編計画の考え方」4(1)、(3)及び(4)に基づく

※「児童生徒数」は令和3年5月1日時点の通常学級及び特別支援学級の児童生徒数の合計、「学級数」は令和3年5月1日時点の通常学級の学級数(「富山市の教育」)

※柳町小学校(東部小校区に通学区域を変更)については、令和3年8月時点の住民基本台帳に基づき算出。学級数は不要であるため、割り出していない。

### 該当する地域生活圏及び小学校校区

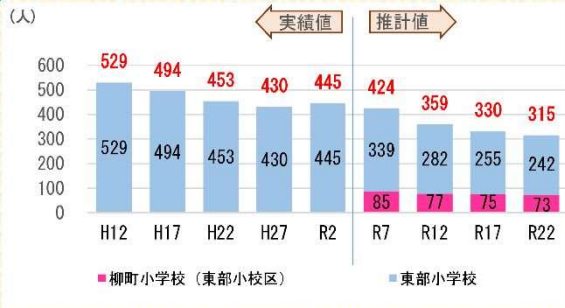




本計画	No. 3
再編原案	富山中央-3(2)

# 再編後の概況

## 再編後の児童生徒数の推移



※通常学級及び特別支援学級の児童生徒数  
 ※赤字は児童生徒数の合計  
 ※令和2年以前は「富山市の教育」に掲載されている児童生徒数  
 ※令和7年以降はコーホート変化率法に基づく推計児童生徒数

## 再編後の通学距離



※現在通学している児童生徒について住民基本台帳(令和3年8月時点)に基づき通学距離が3km以内、3km超となる児童生徒数を集計し、その割合を算出

## 再編後の学校規模(学級数)



適正規模：学級数が12学級以上18学級以下  
 大規模：学級数が19学級以上  
 小規模：学級数が11学級以下  
 ※コーホート変化率法に基づいて推計した児童生徒数により学級数を算出  
 ※学級平均は児童生徒数を学級数で除した

## 再編後の教室充足状況



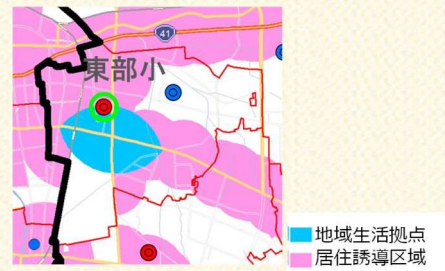
充足：再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を下回っている。  
 不足：再編後の学級数が保有教室数(必要教室数)を上回っている。  
 ※保有教室数：普通教室数と転用可能な教室数を合計した数  
 ※コーホート変化率法に基づく推計生徒数により学級数を算出

## 再編先学校の施設健全度

	大規模 改造済	屋根 ・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備
校舎 (建築年数8年)	-	A	A	A	A	A
体育館 (建築年数29年)	○	A	A	A	A	A

A：概ね良好  
 B：部分的に老朽化(安全上、機能上、問題なし)  
 C：広範囲に老朽化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)  
 D：早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり)  
 ※富山市学校施設長寿命化計画(令和3年3月)

## 再編先学校の周辺地域状況



## 再編先学校の指定避難所区分

**第1次避難所**  
 (洪水時には2階以上に避難すべき緊急避難場所)

※富山市避難所一覧(令和3年5月24日更新)

## コメント

- 【通学距離】3kmを超える児童生徒は存在しない。
- 【学校規模】令和7、12、17、22年のいずれの時点においても適正規模校となる。
- 【必要教室数】教室数は充足している。
- 【施設健全度】良好である。
- 【周辺状況】地域生活拠点内及び居住誘導区域(立地適正化計画)内に位置する。